

これからチャノキイロアザミウマの発生が多くなりそうです

ぶどう

チャノキイロアザミウマ

防除を心がけましょう。

防除のポイント

●成虫の発生ピーク時が防除適期です。

表1 チャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日

	愛西	南知多	名古屋	豊田	岡崎	蒲郡	豊橋	新城	伊良湖	稲武
第1世代	5/22	5/22	5/18	5/22	5/22	5/19	5/21	5/22	5/21	6/10
第2世代	6/17	6/18	6/13	6/18	6/18	6/15	6/17	6/18	6/16	7/9
第3世代	7/8	7/10	7/4	7/9	7/9	7/7	7/11	7/9	7/8	8/1
昨年の 第2世代	6/20	6/20	6/16	6/20	6/22	6/19	6/19	6/23	6/18	6/14 (第1世代)

※「あいち病害虫情報」チャノキイロアザミウマ情報第2号(平成25年6月4日)より
<http://www.pref.aichi.jp/byogaichu/2013/azamiUma/azamiUma2582.pdf>

●チャノキイロアザミウマは寄生植物の範囲が広く移動が頻繁です。
 果樹園周辺のイヌマキやサンゴジュでも増殖しますので注意しましょう。

主なぶどうチャノキイロアザミウマ対策剤

平成25年6月13日現在

薬剤名	希釈倍数	使用時期 (収穫前)	本剤及び有効成分の 総使用回数	移行性	速効性	残効性	系統
アドマイヤーフロアブル	5000倍	21日前まで	2回以内	◎	○	◎	ネオニコチノイド
ダントツ水溶剤	2000~4000倍	前日まで	3回以内	◎	○	◎	ネオニコチノイド
コテツフロアブル	2000~4000倍	14日前まで	2回以内	△	◎	○	呼吸阻害
コルト顆粒水和剤	3000倍	前日まで	3回以内	○	△	◎	アミノキサソリン

農薬の使用にあたっては、ラベルの表示事項を守るとともに
 他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう